

2022年度 シラバス原簿						タイトル	講義内容と事前事後学習内容	
科目名 英語名	総合科学特論「新文化論」 General Science ～Studies of Culture～					1 週	ガイダンス	<p><b>事前 2.5hr</b> シラバスの内容を読んでおこう。自分が千葉工業大学に入学し学ぼうと思った動機を振り返り、まとめてみよう。</p> <p>授業、講師、成績判定の方法等を説明する。後半は、世界中で日本が置かれている現状を教授し、コロナ後の時代に向けて必要なことは何かについて考察する。【講義担当：小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(対面)</p> <p><b>事後 2.5hr</b> 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておこう。</p>
	科目 担当者	小宮 一仁					2 週	千葉工業大学の設立趣意書を読みとく
開講学期	時間数	単位数	科目の区分	曜日時間	履修制限	3 週	精神の考古学(1)	<p><b>事前 2.5hr</b> 精神の考古学とは何か、言語の発生と脳の進化、宗教と芸術の発生について解説する。【講義担当：中沢新一千葉工業大学日本文化再生研究センター所長(文化人類学者)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(オンデマンド)</p> <p><b>事後 2.5hr</b> 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておこう。</p>
5・7学期	2	2	選択	水曜日5・6限	特になし	4 週	精神の考古学(2)	<p><b>事前 2.5hr</b> 前週の授業を受けて、人類は人工知能(AI)にどのように対峙すべきかについて、考えよう。</p> <p>宗教と芸術の発生、人類最古の哲学としての神話、「野生の思考」について解説する。【講義担当：中沢新一千葉工業大学日本文化再生研究センター所長(文化人類学者)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(オンデマンド)</p> <p><b>事後 2.5hr</b> 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておこう。</p>
目的	<p>【目的】 学生の知識・教養を高め、果敢にして実行力のある意志を培い、豊かそして堅実な人格を陶冶するために、新しい文化について教授することを目的とする。</p> <p>【授業概要】 対面、オンラインの授業共に、講義を聞いて課題が出されている場合には課題の解答を提出してください。講義の進行は、毎回小宮学事顧問が行います。対面の授業では、講義担当教員とディスカッションを行います。</p>					課題解決型	<input checked="" type="checkbox"/>	
						グループワーク	<input type="checkbox"/>	
注意事項・ 学習アドバイス	<p>※対面形式とオンライン形式のいずれかによる授業です。授業週によって形式が異なりますので注意してください。対面形式とライブ配信形式の授業は、時間割にある時間帯に履修してください。オンデマンド形式の授業は、配信期間に動画を視聴してください。授業の形式は、前週の授業終了までに連絡します。なお、記載の授業週と授業形式は変わることがあります。</p> <p>※この科目は寄付講座ですので、担当講師は千葉工業大学学長経験者、千葉工業大学特別教授および研究センター所長・研究員となります。講義に関するお問い合わせは、教務課に連絡して下さい。</p>					ディスカッション	<input checked="" type="checkbox"/>	
						ディベート	<input type="checkbox"/>	
到達目標	<p>・自分が学んでいる専門分野と現代社会の動向を結びつけて考えることができる。</p> <p>・工学分野と文化との関係性について理解し、その一例を説明することができる。</p>					プレゼン	<input type="checkbox"/>	
						実験・実習・演習	<input type="checkbox"/>	
評価基準	<p>講義に関連する課題を毎回、講義の週に出題します。また最後の講義の週に、総合課題を出題します。これらに解答してください。講義に関連して毎回出題される課題と、総合課題の合計点によって成績を評価します。</p>					フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	
						期末試験 0% 中間試験 0% 小テスト(0回) 0% 提出物(数回) 100% プレゼン(0回) 0%		
関連科目	なし					6 週	現代人の脳は未だに150人ぐらいの規模の信頼できる仲間しか対応していない。これは社会関係資本に匹敵するが、情報通信機器の発達はいくらも多くの人々と付き合うことを可能にした。その結果、現代はフェイクニュースやSNS上にあふれ、人々は不安にさらされている。新型コロナウイルスはこうした通信機器依存のデジタル社会に警鐘を鳴らした。その経験を踏まえて、コロナ後にどんな社会が実現するかを考えてみよう。【講義担当：山極壽一特別教授(前京都大学総長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(オンデマンド)	
						7 週	建学の精神「世界文化」と人間圏の創成	技術革新と文明、ホモサピエンスの特異性、人間圏について、人間圏学の創成について解説する。【講義担当：松井孝典千葉工業大学学長(千葉工業大学惑星探査研究センター所長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(オンデマンド)
参考文献・参考資料等	必要な場合は別途連絡します。					8 週	俯瞰的視点の重要性	俯瞰的視点の重要性について解説する。【講義担当：松井孝典千葉工業大学学長(千葉工業大学惑星探査研究センター所長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(オンデマンド)
						9 週	トルコで考古学の発掘調査を行う意味とは何か	1985年以来、(公財)中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所は、高原のほぼ中央部に位置するカマン・カレホック遺跡で考古学の発掘調査を行い、今年で調査も36年目に入る。この調査の主旨は、「文化層の構築」であり、換言すれば、遺跡の年表を作成することである。今回は、何故、日本の研究機関が同じ方法で一つの遺跡で長期間に渡って掘り下げているのか、その意味について語ってみたい。【講義担当：大村幸弘千葉工業大学地球学研究所研究員(アナトリア考古学研究所長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド)
10 週						10 週	トルコでの発掘調査について	(公財)中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所がトルコで行っている考古学の発掘の調査結果を報告する。【講義担当：大村幸弘千葉工業大学地球学研究所研究員(アナトリア考古学研究所長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド)
						11 週	考古学と現代史	考古学とは、どのような学問だろうか。考古学の発掘現場には調査を行うための目的がある。地味な作業を繰り返しながら、考古学が現代社会にとって一体どのような意味があるかに対して常に伝える必要がある。現代を語らなくても必要不可欠の学問である。ここでは現代を語る上で考古学は武器の一つになり得るかについて語ってみたい。【講義担当：大村幸弘千葉工業大学地球学研究所研究員(アナトリア考古学研究所長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド)
12 週						12 週	神道と日本文化	日本人は、子どもが生まれたらお宮参りに行き、結納式をチャペルで挙げ、お葬式は仏式で行うことに、さして疑問を感じない。この思想の根拠には、八百万の神々を大切にす神道のあり方を日本人が無意識のうちに入れているからではないだろうか。神道が日本文化の中にもどるのか、その意味について語ってみたい。【講義担当：三笠宮子女王陛下(千葉工業大学特別教授)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(ライブ配信)
						13 週	皇室の装束と文化	明治維新を契機に、日本人の生活様式は大きな変革を遂げた。衣装もその例外ではない、日本が西欧諸国と並ぶ文明国であることを示すため、儀式のときなどに着用する衣装は洋服と正式に定められた。その改革を推進したのが、明治の皇室であった。明治の皇室がどのような文化を守り、そして生み出したかを明らかにしていく。【講義担当：三笠宮子女王陛下(千葉工業大学特別教授)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(ライブ配信)
						13 週	皇室の装束と文化	明治維新を契機に、日本人の生活様式は大きな変革を遂げた。衣装もその例外ではない、日本が西欧諸国と並ぶ文明国であることを示すため、儀式のときなどに着用する衣装は洋服と正式に定められた。その改革を推進したのが、明治の皇室であった。明治の皇室がどのような文化を守り、そして生み出したかを明らかにしていく。【講義担当：三笠宮子女王陛下(千葉工業大学特別教授)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】(ライブ配信)
								<b>事後 2.5hr</b> 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておこう。